

研究・調査報告書

報告書番号	担当
1 3 4	滋賀医科大学社会医学講座公衆衛生学部門
題名 (原題/訳)	
Relationship between alcohol habits and hemorheology by a micro channel method in a general population. 一般集団における飲酒習慣とマイクロチャンネル法による血液流動動態との関係	
執筆者	
Kotani K, Adachi S, Osaki Y, Kurozawa Y, Araga S.	
掲載誌 (番号又は発行年月日)	
Clin Cardiol. 2008 Oct;31(10):488-91.	
キーワード	
生活習慣、社会生物学的因子、アルコール、低比重リポ蛋白、循環器疾患予防学	
要 旨	
<p>背景・目的： 心血管病の発症には血液流動動態（血液レオロジー）が重要な役割を果たしている。マイクロチャンネルアレイ・フロー・アナライザー(Hitachi Haramachi Electronic Co. Ltd.製、Micro-Channel array Flow Analyzer; MC-FAN：日本、弁天町)は現在、血液流動性変化を解析するための有用な新たな装置と考えられている。しかし様々な生活習慣と血液レオロジーとの関係、特に MC-FAN での評価は依然として十分ではない。MC-FAN による血液レオロジーと生活習慣因子とに何らかの相関があるか否かを検討する。</p> <p>方法： 無症状で薬物を服用していない日本人成人 250 人（男性：女性=100：150、平均年齢=49.7 歳）を対象とした。MC-FAN により測定した全血通過時間（WBPT）および生理的食塩水通過時間で補正したものとで血行動態を評価した。喫煙習慣、飲酒習慣、身体活動などの自己申告を用いて生活習慣因子に関する情報を得た。</p> <p>結果： 年齢、性、ヘマトクリット、白血球数、body mass index、血圧、血液生化学値、全ての生活習慣因子で調整した WBPT 部分相関係数（partial correlation）分析によると、1～3 合の飲酒習慣と WBPT との間に有意な負の相関が認められた ($r=-0.191$、$p=0.003$)。一方、血清中の低比重リポ蛋白（LDL）コレステロールと WBPT との間には有意な正の相関が認められた。</p> <p>結論： MC-FAN で評価された血液レオロジーでは、飲酒習慣は有益であることが示唆された。これは軽中度の飲酒が心血管病に予防的に働くという従来知見と一致する。</p>	